

JFA U-12サッカーリーグ2019 in北海道 千歳地区大会 開催要項

- 1 主旨 日本^の将来を担う子どもたちのサッカーへの興味・関心を深め、サッカーの技術・理解を向上させると同時に、サッカーを通じて心身を鍛え、リスペクトの精神を養い、クリエイティブでたくましい人間の育成を目指す。さらに長期にわたるリーグ戦を導入することにより、U-12年代のサッカーにおけるリーグ戦文化を醸成していくことを目指す。
- 2 名称 JFA U-12サッカーリーグ2019 in北海道 千歳地区大会
- 3 主催 公益財団法人日本サッカー協会、公益財団法人北海道サッカー協会
千歳地区サッカー協会 恵庭サッカー協会
- 4 主管 千歳地区サッカー協会、千歳サッカー協会、恵庭サッカー協会、北広島サッカー協会
- 5 担当 千歳地区サッカー協会4種委員会 リーグ部
- 6 期日 1st: 2019年4月28日(日)、5月6日(月)
2nd: 2019年5月12日(日)、5月19日(日)、6月23日(日)、7月22日(日)
final: 2019年9月1日(日)、9月8日(日)
サテライト: 2019年4月27日(土)、5月25日(土)、7月14日(日)、8月18日(日)
final: 2019年9月7日(土)
- 7 会場 恵庭市ルマップ自然公園ふれんど多目的広場、北広島サンパーク
- 8 参加資格
 - (1) トップリーグ
 - (ア) 「参加チーム」は2019年度(公財)日本サッカー協会第4種に加盟登録したチームであること。
 - (イ) 「参加選手」は、上記「加盟チーム」に所属する選手で、(公財)日本サッカー協会第4種登録
 - (ウ) 第4種年代の女子選手については、「クラブ申請」を承認された同一「クラブ」内のほかのチームから選手を参加させることも可能とする。
 - (エ) 1団体/複数チームの参加を認める。
 - (オ) 引率指導者は「参加チーム」を掌握指導する責任ある指導者であり、(公財)日本サッカー協会公認コーチ資格(D級コーチ以上)を有すること。引率指導者の氏名、資格等を参加申込書に記載すること。
 - (カ) 「参加チーム」は必ず傷害保険(スポーツ安全傷害保険)に加入していること。
 - (キ) 上記「参加チーム」の登録選手は、「サテライトリーグ」と重複して登録することはできない。
 - (ク) リーグ戦中の選手の移籍、複数エントリーチーム間の移動、「サテライトリーグ」登録選手との移については認めるものとする。ただし、本リーグ戦は全日本U-12大会の予選を兼ねている関係から、移籍・移動が可能な期間をファイナルラウンド開始5日前(2019年8月27日)までとする。
 - (2) サテライトリーグ
 - (ケ) 「参加チーム」は大会実施年度の「加盟チーム」であり、「参加選手」は同チームに所属するU-12以下の選手であり、(公財)日本サッカー協会発行の登録選手証を有するものであること。
 - (コ) 上記「参加チーム」の構成は単一「加盟チーム」に限らず、近隣の「加盟チーム」による「合同チーム」による参加を認める。
 - (3) その他
 - (シ) 登録されたチーム以外、トレセンチームの参加を認める。ただし、勝敗はリーグの順位に関わらないものとする。また、選手はいずれかのチームのみでの参加とし、重複出場は認めない。ただし、サテライトリーグについては重複出場を認める。
 - (ス) ユニフォームは正副を登録し、(財)日本サッカー協会「ユニフォーム規定」を厳守する。ただしサテライトリーグとトレセンチームはビブスでの出場を認める。
- 9 競技規則
 - (ア) 公益財団法人日本サッカー協会「8人制サッカー競技規則」による。
 - (イ) トップリーグの登録選手は20名以内とし、1試合にはそのうち16名がエントリーできる。
 - (ウ) ベンチ入りできる指導者は監督を含め4名以内とし、2名以上のチーム役員がベンチに入

る
ことを義務付ける。

10 競技方法

- (ア) トップリーグは、1stラウンドを抽選による3グループ編成とし、各グループの所属は4チームとする。2ndラウンドは1部2部の2グループ編成とし、各グループの所属は6チームとする。
- (イ) 2ndラウンドは同一グループの2回戦制とし、1部2部の編成は1stラウンドの順位で決定する。
- (ウ) ファイナルラウンドは、2ndラウンド1部グループ1～4位チーム及び2部グループ1～2位の6チームによって争われる。ファイナルラウンドの上位4チームによるプレーオフの結果によってJFA全日本U-12選手権大会道央ブロック予選に出場するチームを決定する。
- (エ) ファイナルラウンドは1日目に3チームずつ2グループのリーグ戦を行い、2日目に各組上位2チームの計4チームによるトーナメントでプレーオフ(代表決定戦)を行う。
- (オ) 上記4チーム以外のチームは秋季選手権大会に参加する。
- (カ) トップリーグでの順位の設定は、勝ち点・得失点差・総得点・総失点・当該チーム同士の対戦成績の順とし、すべて同一の場合は3人PK(4人目以降サドンデス)により順位を決定する。なお、PK戦の前に登録選手より8名を選出し主審に通知する。
- (キ) 不戦敗があった場合は、当該チームが行ったすべてのリーグ戦の結果と得点を無効とする。
- (ク) 試合時間は前・後半ともに20分としハーフタイムのインターバル(前半終了の笛から後半開始までは5分とする。JFA全日本U-12選手権千歳地区代表決定戦のハーフタイムは10分とする。代表決定戦において40分で勝敗が決しない場合は、10分間(5分-5分)の延長戦を行う。

う。なお

- (ケ) 競技のフィールド
 - ・フィールドの長さ(タッチライン)は68m、幅(ゴールライン)50mとする。
 - ・ゴールポストの間隔は5m、クロスバーのグラウンドからの高さは2.15mとする。
 - ・その他ペナルティアリア等の長さに関しては、公益財団法人日本サッカー協会「8人制サッカー競技規則」に準ずる。
- (コ) 試合球 少年用4号球を使用する。
- (サ) 競技者の数および交代
 - ・1チーム8人の競技者によって行われる。チームの競技者のうち1人はゴールキーパーとする。本大会においては、8人に満たない場合は試合を開始しない。試合中に怪我等による人数不足により8人に満たなくなった場合には、そのまま続行する。
 - ・トップリーグにおいて開催日に登録できる交代要員および交代の最大人数は8名とし、交代して退いた競技者は交代要員となり、再び出場することができる。交代の回数は制限されない。**ただし、補欠なしを目指す観点から交代要員を必要最小人数にとどめることを推奨する。**
 - ・サテライトリーグにおいて登録できる人数に制限を設けない。
 - ・ゴールキーパーは、事前に主審に通知した上で、試合の停止中に入れ替わることができる。
- (シ) 交代の手続き
 - ① 交代して退く競技者は、交代ゾーンからフィールドの外に出る。
 - ② 交代要員は、交代ゾーンからフィールドに入り、競技者となる。
 - ③ 交代は、ボールがインプレー中、アウトオブプレー中にかかわらず行うことができる。但し、交代で退く競技者が負傷している場合は、主審の承認を得た上でどこからフィールドを離れてもよい。
 - ④ ゴールキーパー以外の競技者の交代について、主審の承認を得る必要はない。
- (ス) 競技者の用具
 - ・競技者の用具については、公益財団法人日本サッカー協会「サッカー競技規則」「8人制サッカー競技規則」およびユニフォーム規定に従うものとする。ただし、ユニフォーム規定第4条の規定にかかわらず、登録していないユニフォームを着用することができる。
 - ・サテライトリーグにおいては固有の番号でなくても良い。また、ビブスの着用を認める。
- (セ) テクニカルエリア
 - ・トップリーグにおいてはテクニカルエリア(ベンチ)に入ることができる人数は、交代要員4名、引率指導者4名までとし、**2名以上の指導者がベンチに入ることを義務付ける。**
ただし、事情により引率指導者が1名しか確保できない場合は指導者以外のチーム役員
ベンチ入りを認める。(事前に氏名と役職を大会本部へ申し出ること。)
 - ・サテライトリーグにおいては、交代要員の人数に制限を設けない。
 - ・その都度ただ1人の引率指導者のみが戦略的指示を伝えることができる。**「指導者以外のベンチ入り役員」の戦略的指示は禁止する。**
- (ソ) 審判員
 - ・トップリーグにおいては4人制審判とし、サテライトリーグにおいては1人審判制とする。
- (タ) ファウルと不正行為
 - ・言語: 退席の競技規則に準ずる。
 - ・退場: 当該チームは交代要員の中から競技者を補充し、常に8人でプレーする。
 - ・退席処分: ベンチ(監督・コーチ・役員他)が判定に対して異議を唱えたり、選手に対する体罰行為、罵声などのネガティブなコーチングを行い、主審から一度注意を受けた後に、再度同様な行為があった場合は、主審の判断により退席処分とし、それ以降はベンチからのコーチングは不可とする。
大会期間中 警発をうけた選手は次の1試合に出場できない
- (チ) 飲水タイム
 - ・暑熱下においては、前・後半中程に飲水タイムを採用する。

11 警告・退場

- (ア)競技者が退場を命じられた場合は、その競技者のチームは交代要員の中から競技者を補充することができる。主審は競技者が補充されようとしている間は、試合を停止する。
- (イ)本大会において、退場させられた者は、次の1試合に出場できずそれ以降の処置については、本大会の規律・フェアプレー委員会で決定する。また、本大会期間中、警告を2回受けた者は、次の1試合に出場できない。
- (ウ)本大会の規律・フェアプレー委員会の委員長は千歳地区サッカー協会第4種委員長が務める。委員については委員長が決定する。

12 参加申込

平成31年4月8日(月曜日)までに下記アドレスまでメールにて申し込むこと。(4種委員長宛)

申 込 先 cfa_4syu@soccer.nifty.jp

参 加 料 トップリーグ 1チーム 16,000円

サテライトリーグ 1チーム 8,000円 (監督会議時に徴収)

但し、トップリーグに1団体複数チーム参加の場合は、1チームにつき8,000円追加する。

13 監督会議

平成31年4月12日(金曜日)19:00より千歳地区サッカー協会事務局で行う。

(恵庭市本町16三宝ビル3F)

全チームの参加を義務付ける。なお、監督会議には代行者(帯同審判・コーチ等)の参加も可とする。

14 帯同審判員

- (ア)トップリーグ参加チームは参加1チームにつき公益財団法人日本サッカー協会審判員を2名以上帯同させること。帯同する審判員の氏名、資格等を参加申込書に記載すること。なお、不帯同は認めない。
- (イ)帯同審判員は、大会期間中審判業務にあたらせるものとする。

15 ユニフォーム

- (ア)ユニフォーム(シャツ・ショーツ・ストッキング)は正の他に、副として正と色の異なるユニフォームを参加申込の際に記載し、各試合に必ず携行すること(FP/GK用共)ただし、FPとして出場していた選手が試合開始後にGKとしてプレーする時はビブスで良い。(固有の番号でなくてもよい)
- (イ)選手番号については「参加選手」ごとに大会に登録されたものを使用する。
- (ウ)ユニフォームの広告表示については、(公財)日本サッカー協会第4種大会部会が別途定める規定に基づくものとする。
- (エ)審判(黒色)と同一または類似したシャツを試合において着用することはできない。公益財団法人日本サッカー協会「ユニフォーム規程」を遵守すること。
- (オ)シャツの前面・背面に選手登録用紙に記載された選手固有の番号を付けること。

16 その他

- (ア)各チームの登録選手は、(公財)日本サッカー協会発行の選手証を持参すること。写真貼付けのないものは無効とする。(選手証とは、KICKOFFから出力した、選手証・登録選手一覧を印)
- (イ)選手の変更・追加登録は所定の用紙で試合の5日前までとし、開催日毎に変更・追加できるものとする。申込先までメールで提出のこと。
- (ウ)大会規定に違反し、その他不都合な行為の発生した場合は、そのチームの本大会への出場を停止する場合がある。
- (エ)荒天・震災・雷等、不測の事態が発生した場合は千歳地区サッカー協会4種委員会3役および審判部長等において協議の上、対処する。中断・中止・延期することがあるので留意のこと。
- (オ)主催・主管等は、大会期間中の事故に関する一切の責任を負わないものとする。
- (カ)プレーオフ上位の3チームは、9月22日(日)に小樽地区(岩内町)で開催されるJFA全日本U-12選手権大会北海道予選道央ブロック大会への参加を義務付ける。
- (キ)本大会2ndラウンド1巡目終了時における1部グループ1~4位のチームにはロバパンカップ全道少年団千歳地区予選の抽選シード権を与える。

以 上